



ブラビジャヤ大学

UNIVERSITAS BRAWIJAYA



英語・インドネシア語

<http://ub.ac.id/en>

学生交流締結年月日： 2003年2月28日

学術交流締結年月日： 2003年2月28日

協定上の派遣可能人数： 3名以内

Academic Calender		協定校申請締切※	必要な成績・語学能力スコア
春学期	3月～8月		TOEFL ITP 500
秋学期	9月～2月		IELTS 5.5

※学内申請締切は協定校締切より早く設定しています。派遣希望者は必ず学内締切を確認してください。

概要

ブラビジャヤ大学(UB)は1963年に公立大学になった。現在大学は、学士、修士、博士課程、および医療専門家のプログラムに至るさまざまな課程で30000人以上の学生が学ぶインドネシアでも有数の大学の一つである。

キャンパスは東ジャワのマランという街に位置しており、公共交通機関によって簡単に行くことができる。キャンパスのいたるところで成長している木とマランの涼しい空気のおかげで、UBのキャンパスは非常に過ごしやすい。

UBは以前、同じ年に発行された大統領令を受け、1963年1月5日に州立大学に変わった。この日は、後にUBの記念日として公布された。1967年の州立大学への転換に先立ち、UBはサワリガディン・マカッサル大学の分校として、マランで1957年に運営を開始していた。当時このマランの分校には2学部、法学部と経済学部があった。その後、1960年7月1日に、その名前はマラン市立大学に変更された。新しい名前ですらに2つの学部、つまり経済学部と農学部が数か月後に設立され、最後に、マラン市立大学はブラビジャヤ大学へと名前を変更した。

州立大学への移行時、大学には5つの学部しかなかった：法学部、経済学部、国家ガバナンスと貿易経営学部、農学部、そして獣医畜産学部である。その後1973年には、獣医畜産学部は2つの学部に分かれていた：畜産学部とエアランガ大学の下にあった獣医学部である。工学部は、同じ年の大学省科学教育令に基づいて1963年に設立された。

所在地： マラン市、インドネシア共和国



おすすめコメント

(担当教員より)

この大学のおすすめポイントは、涼しくて過ごしやすく平和なところである。常夏で、高知市との姉妹協定都市であるインドネシア第2の都市スラバヤに近く便利であるが、市内から80キロ山間部にあるため気候も日本人にぴったりで、非常に過ごしやすく毎日が避暑地のサマースクールといった感じである。医学部まで持つ総合大学で、キャンパス内にホテルを2カ所持している国立大学である。高知大学からの留学生は、寮としてホテルに滞在させてもらっていた。これからの日本との将来的関係を考えると、インドネシア留学は、非常に有益であると考えられる。日本語学科長のアジ・セチアント先生をはじめ荒井美幸先生、吐山さとし先生、・・・と数人の高知大学OBが専任講師として着任している、関係の深い交流協定校である。

(先輩・留学生より)

ブラビジャヤ大学には文学部、医学部、経済学部などさまざまな学部があります。外国人留学生も多く現地の学生や留学生と会話することができるため、アウトプットの機会が多く、英語とインドネシア語を身につけやすい環境だと思えます。キャンパス内には食堂やフードコートがいくつかあり、寮もあります。大学の近くには大学病院もあるので、体調を崩した時でもすぐに対応可能です。